

# 最近の経済動向

## 令和3年3月号

(北海道の景気動向～令和3年1月の経済指標を中心として)

### 持ち直しの動きに弱さがみられる

#### ■生産動向

- P1 生産活動(鉱工業生産指数)  
低い水準で推移しているものの、一部に明るい動きがみられる

#### ■需要動向(消費・投資)

- P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)  
一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている
- P6 住宅建設(新設住宅着工戸数)  
持ち直しの兆しがみられる
- P7 公共工事(公共工事請負金額)  
減少している
- P8 観光(来道者数、来道外国人数)  
さらに厳しい状況となっている
- P10 輸出入(輸出額、輸入額)  
輸出額、輸入額とも前年を下回った

#### ■企業倒産

- P11 企業倒産(倒産件数、負債総額)  
倒産件数、負債総額ともに減少した

#### ■雇用動向

- P13 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)  
弱い動きが続いている

#### ■物価動向

- P15 物価(消費者物価指数)  
消費者物価指数は前年を下回った

#### ■企業の業況感

- P16 企業経営者意識調査  
前期から上昇している
- P17 企業のみなさまから伺いました

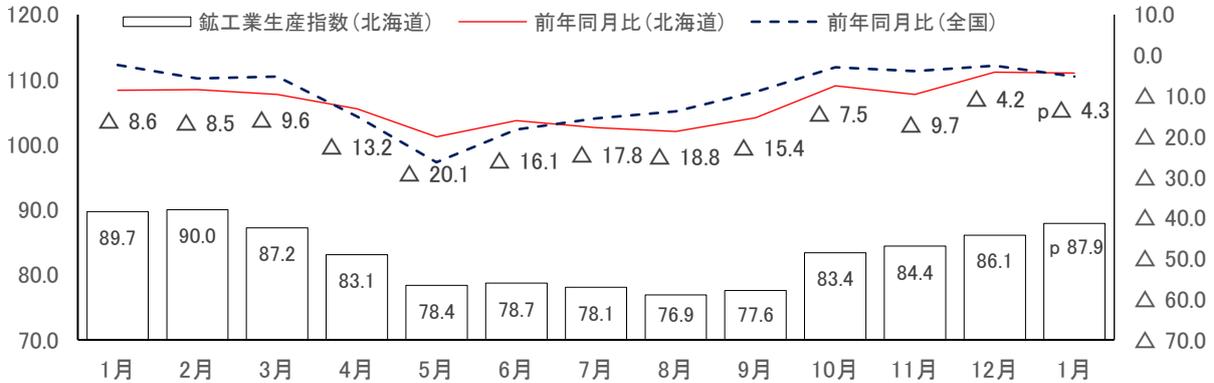
# 生産活動～低い水準で推移しているものの、一部に明るい動きがみられる

## 鉱工業生産指数（1月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、87.9で前月比+2.1%（5か月連続で上昇）であり、原指数による前年同月比は、△4.3%（16か月連続の低下）となった。業種別にみると、輸送機械工業など9業種が前月比上昇、パルプ・紙・紙加工品工業など6業種が前月比低下となった。

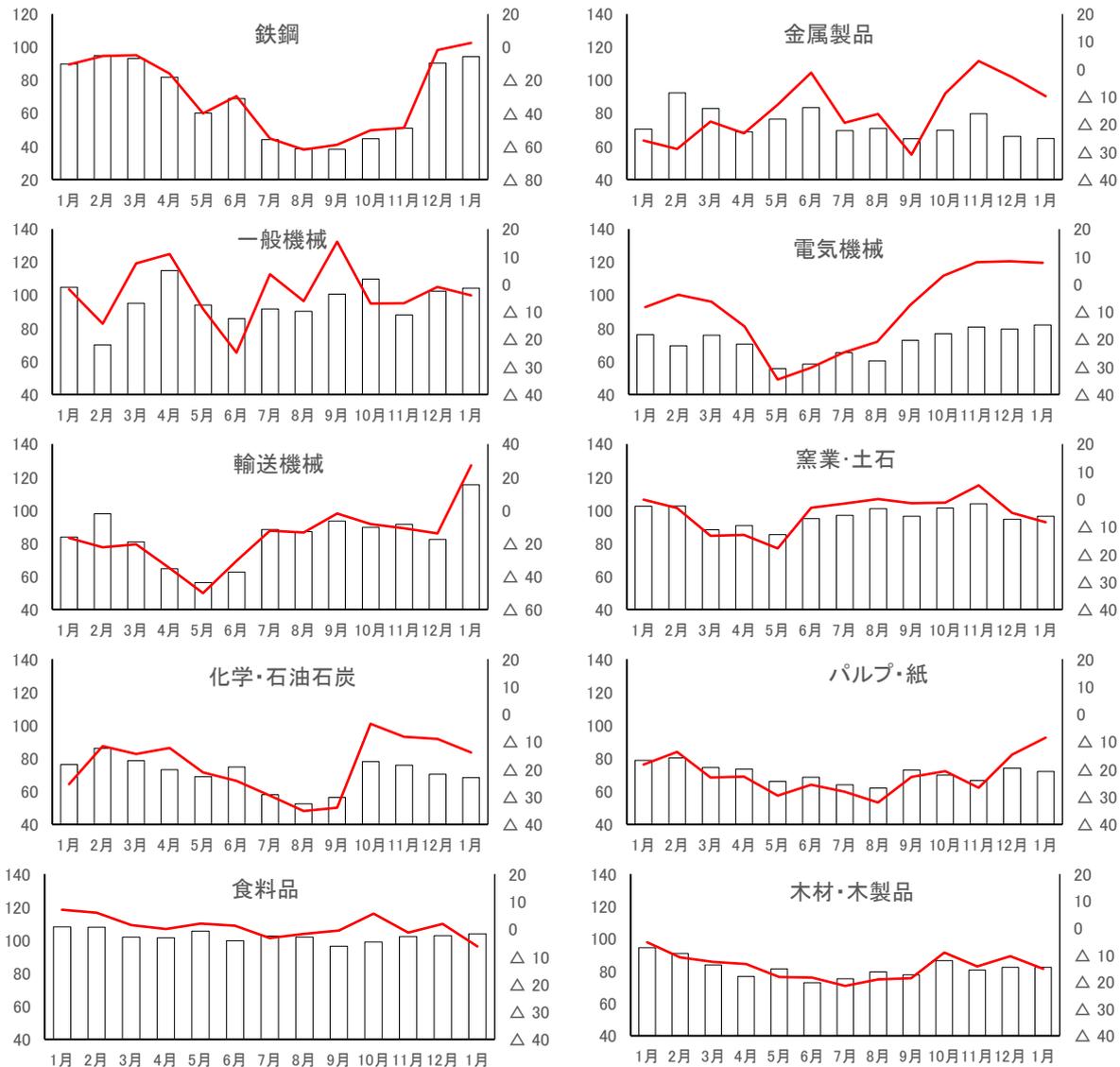
（季節調整済指数：平成27年＝100）

（原指数前年同月比：％）



\*「p」は速報値

## ■主な業種の季節調整済指数(右軸：原指数前年同月比%)

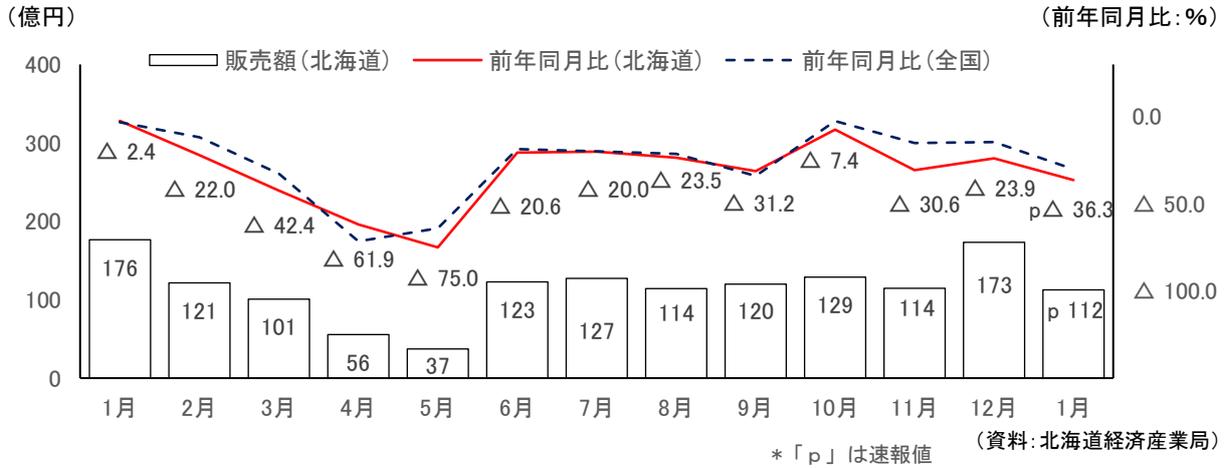


（資料：北海道経済産業局）

## ■個人消費～一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている

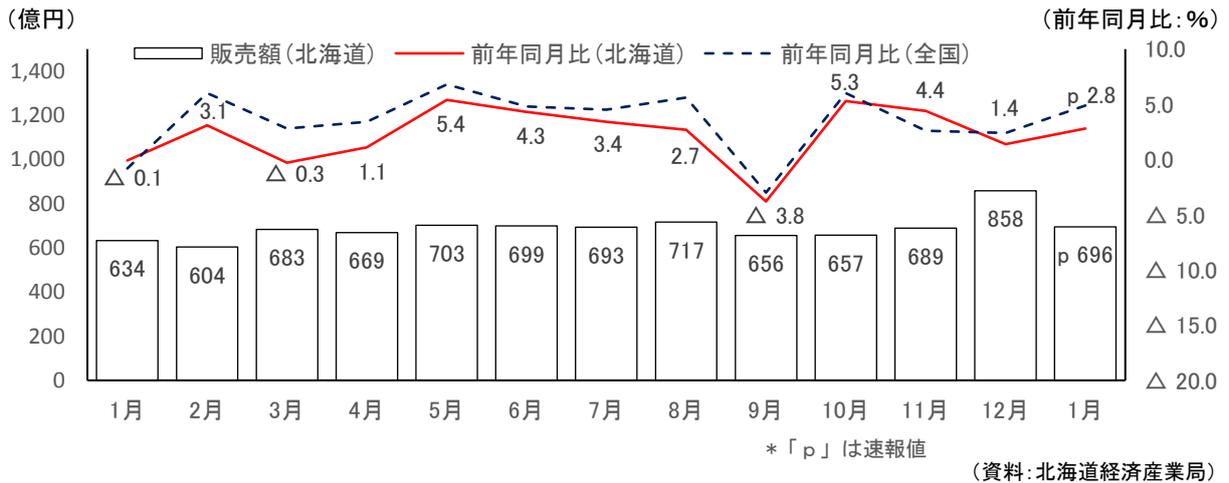
### 百貨店販売額（1月）

百貨店販売額は、112億円で前年同月比36.3%の減少となり、16か月連続で前年を下回った。



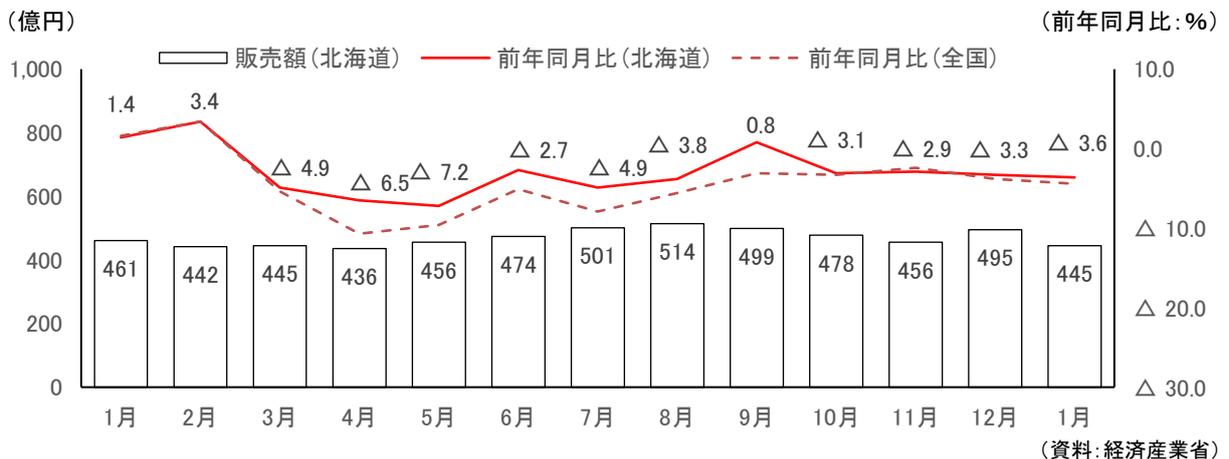
### スーパー販売額（1月）

スーパー販売額は、696億円で前年同月比2.8%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。



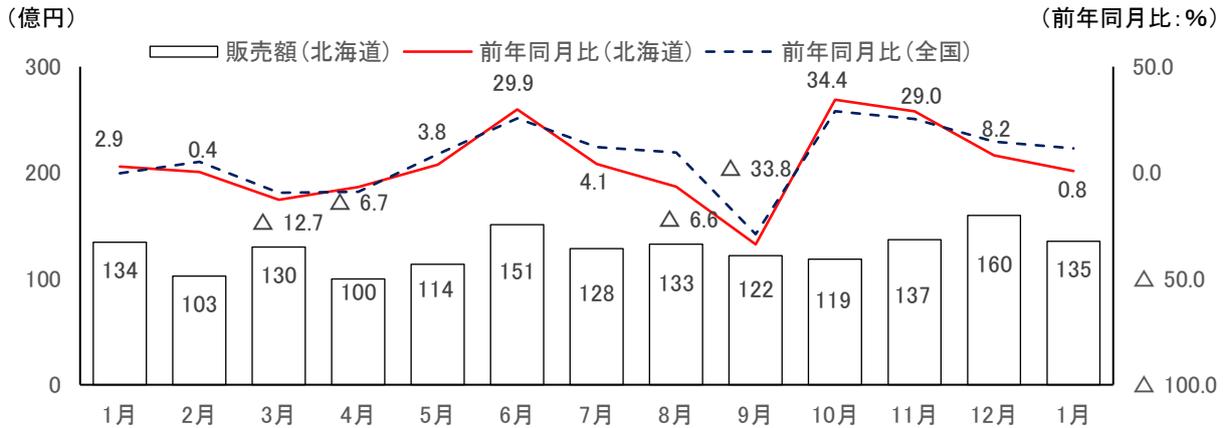
### コンビニエンスストア販売額（1月）

コンビニエンスストア販売額は、445億円で前年同月比3.6%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。



## 家電大型専門店販売額（1月）

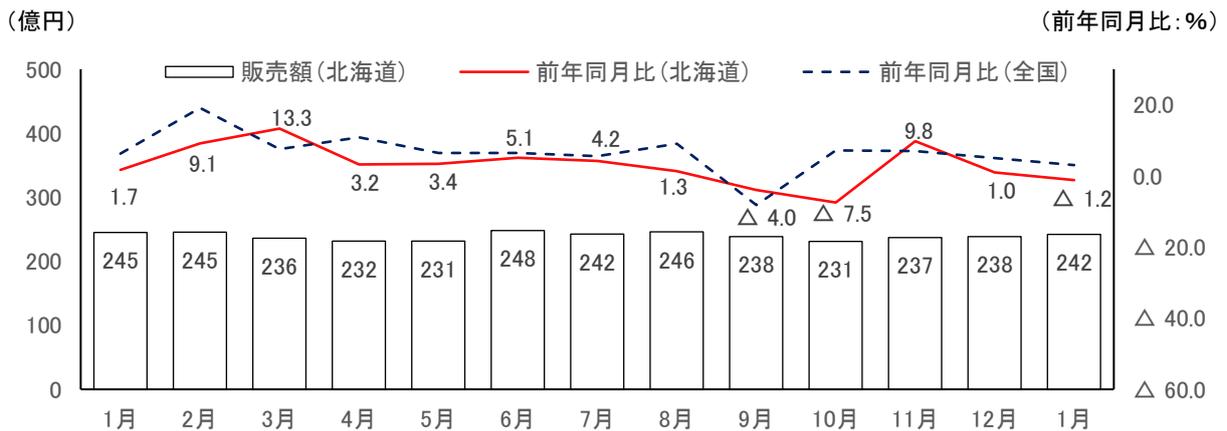
家電大型専門店販売額は、135億円で前年同月比0.8%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。



(資料:経済産業省)

## ドラッグストア販売額（1月）

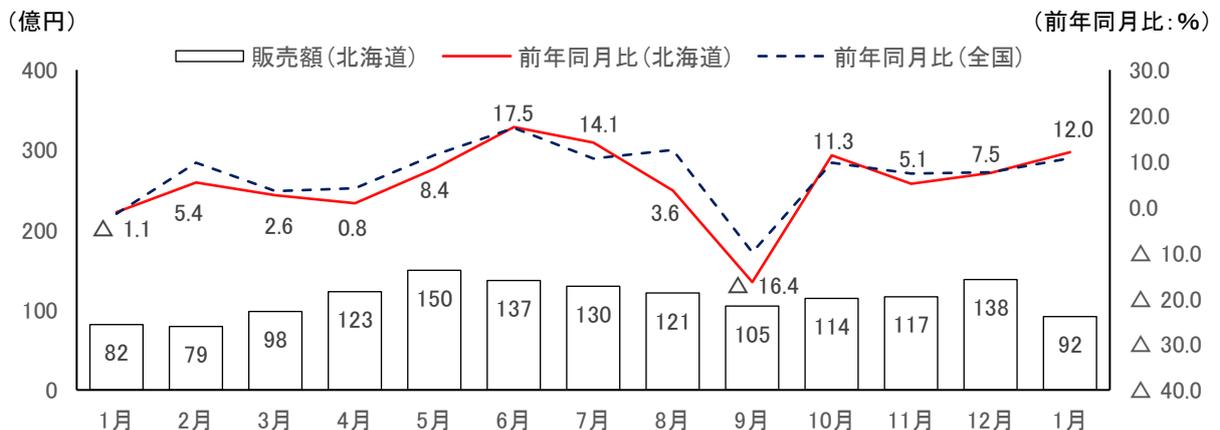
ドラッグストア販売額は、242億円で前年同月比1.2%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。



(資料:経済産業省)

## ホームセンター販売額（1月）

ホームセンター販売額は、92億円で前年同月比12.0%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

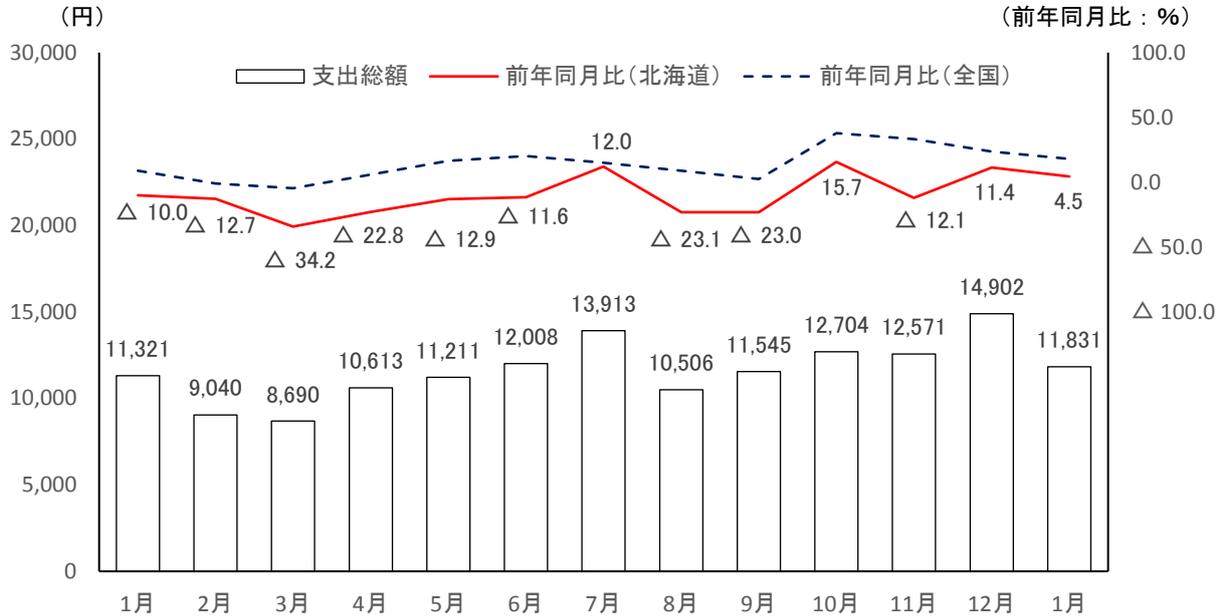


(資料:経済産業省)

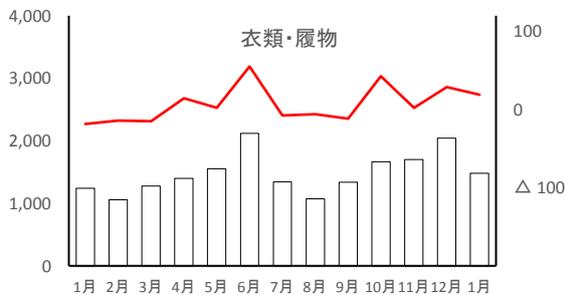
## インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出（1月）

インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出総額は11,831円で、前年同月比4.5%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

品目別にみると、食料は2,140円で前年同月比80.6%の増加、家電は1,084円で同73.7%の増加、衣類・履物は1,479円で同19.1%の増加、旅行関係費が559円で同84.2%の減少となった。



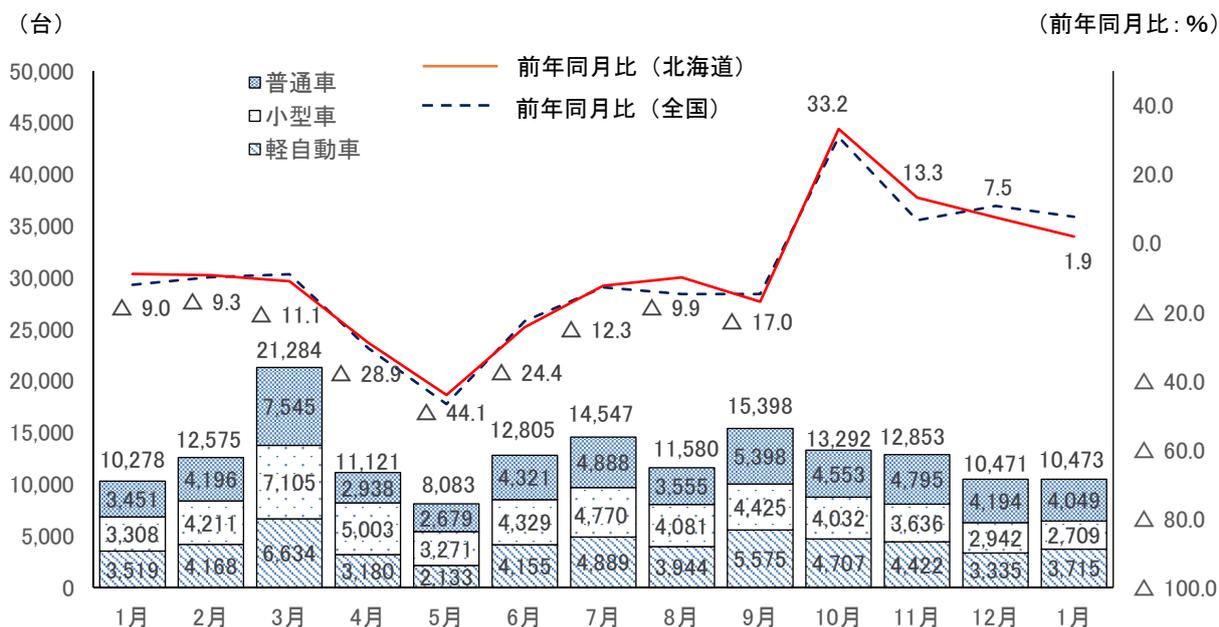
### ■品目別支出額（右軸：前年同月比%）



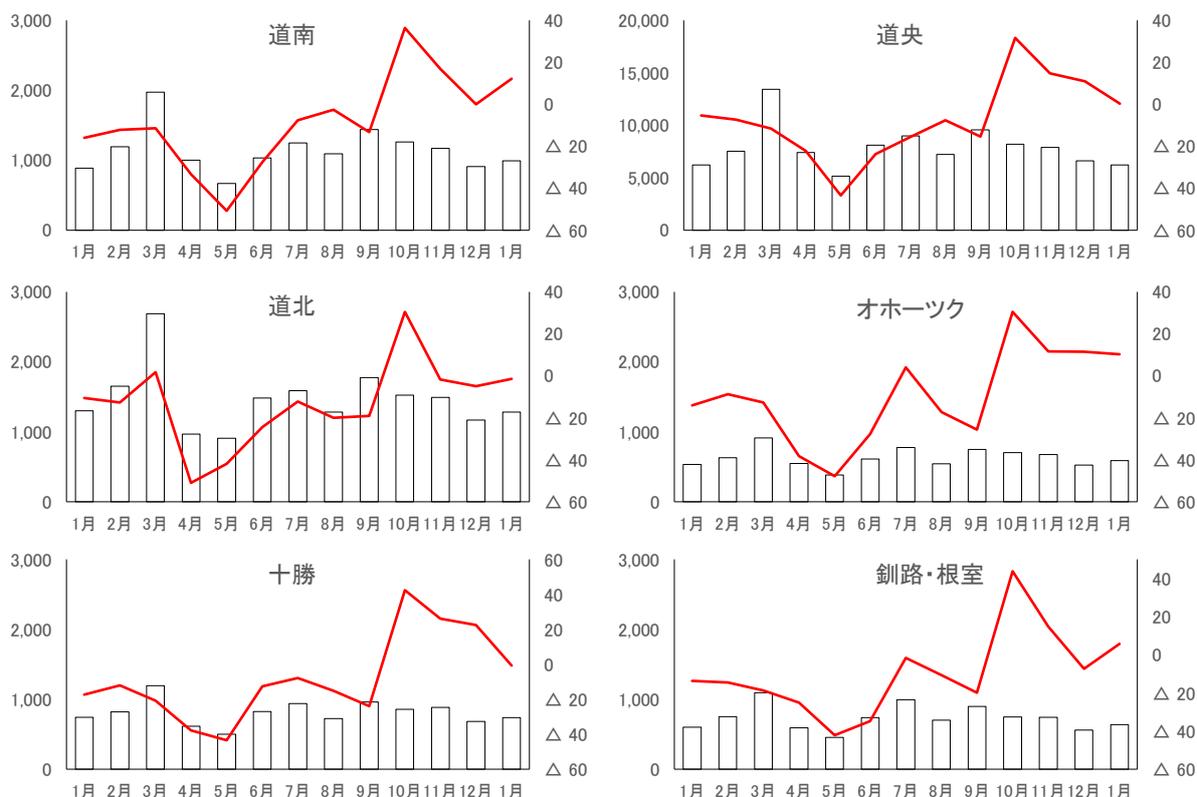
(資料:総務省)

## 新車登録台数（1月）

新車登録台数は、10,473 台で前年同月比 1.9%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。  
 車種別にみると、普通車は、4,049 台で前年同月比 17.3%の増加、小型車は、2,709 台で同 18.1%の減少、軽自動車は、3,715 台で同 5.6%の増加となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）

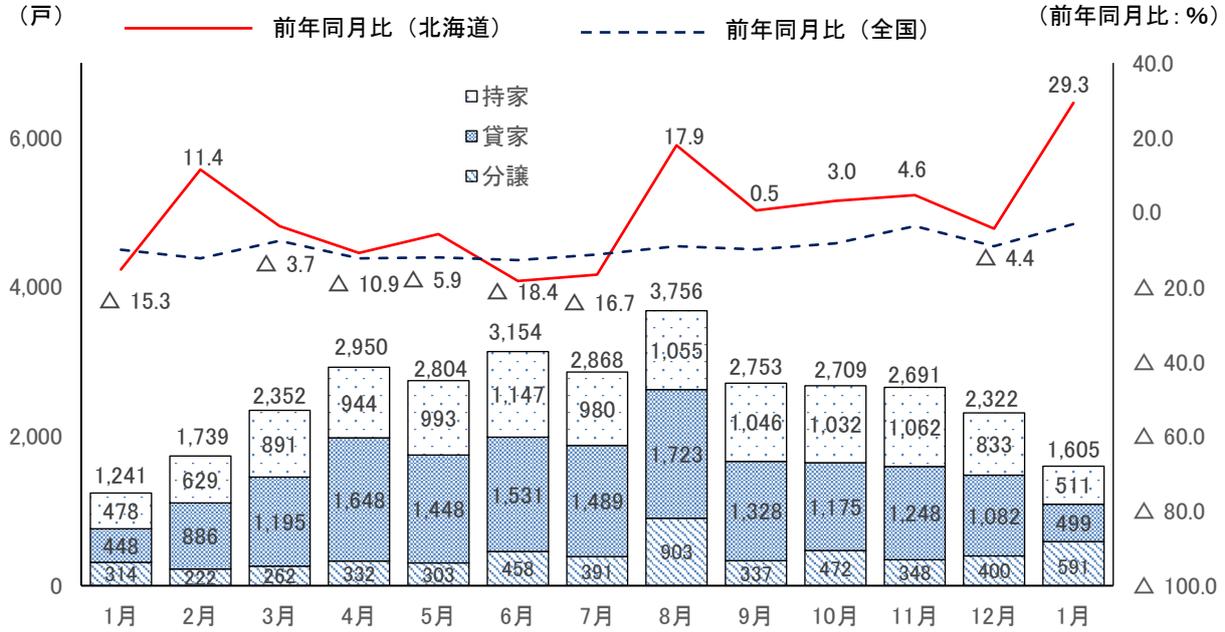


(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

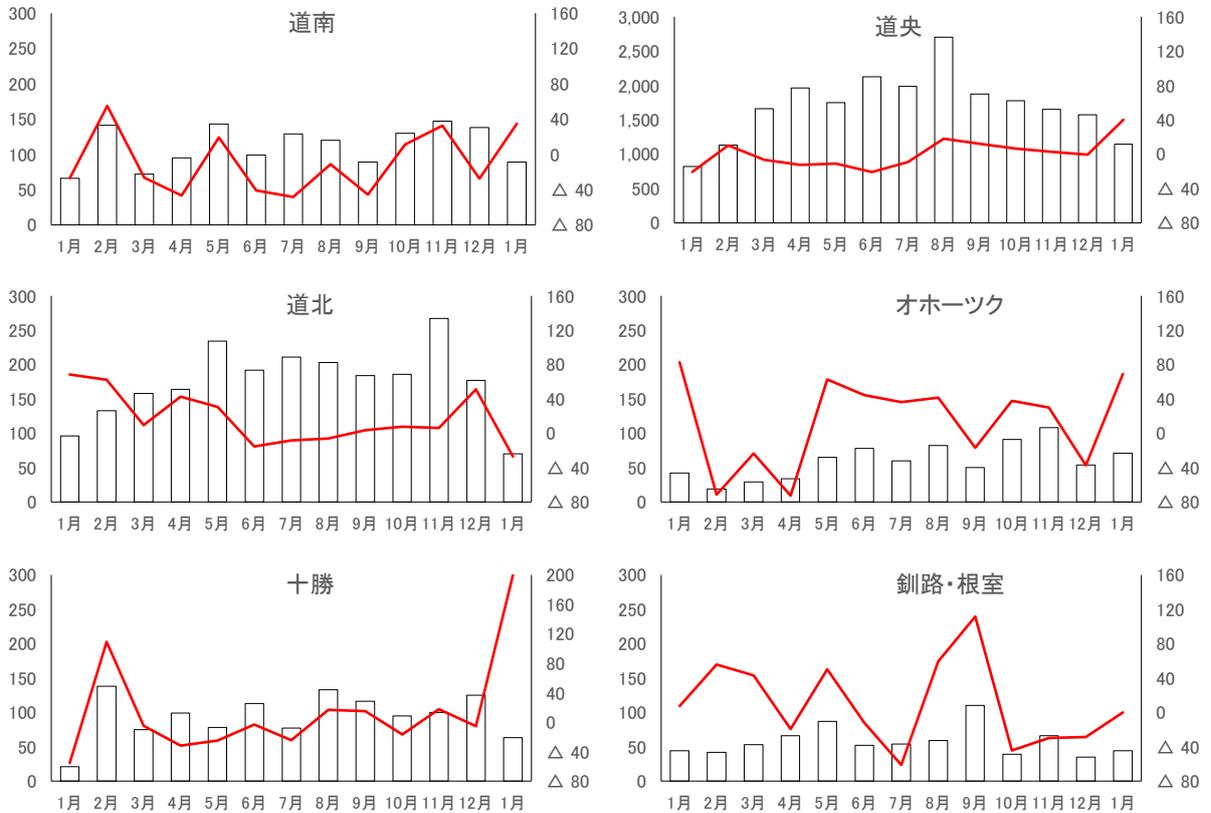
# ■住宅建設～持ち直しの兆しがみられる

## 新設住宅着工戸数（1月）

住宅着工戸数は、1,605戸で前年同月比 29.3%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。  
 利用関係別にみると、持家は、511戸で同 6.9%の増加、貸家は、499戸で同 11.4%の増加、分譲住宅は 591戸で同 88.2%の増加となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

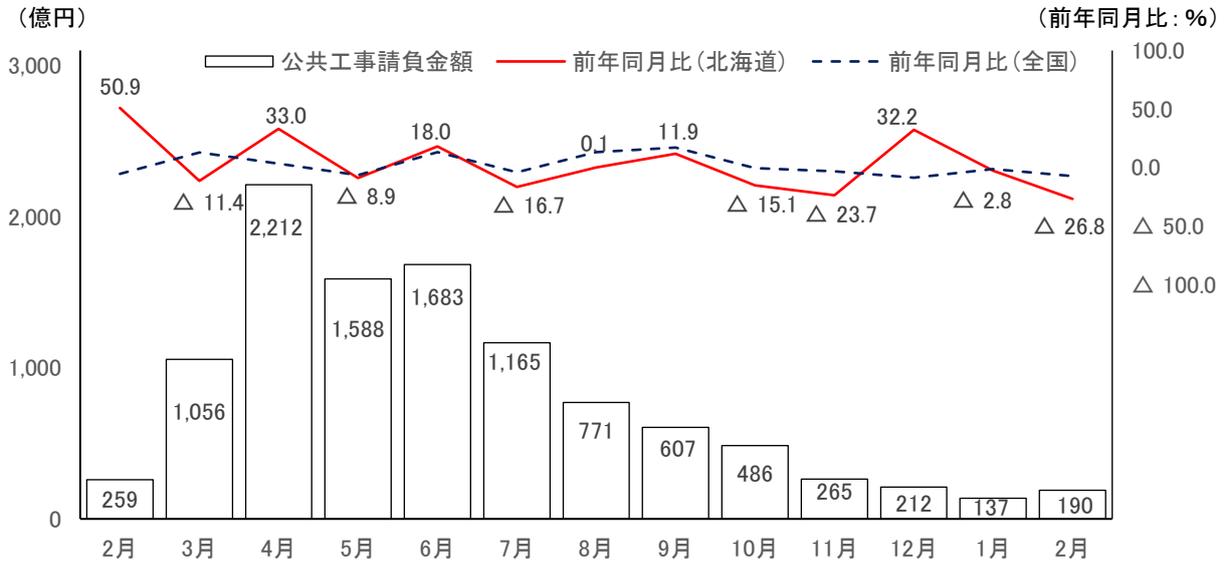


(資料: 国土交通省)

# 公共工事～減少している

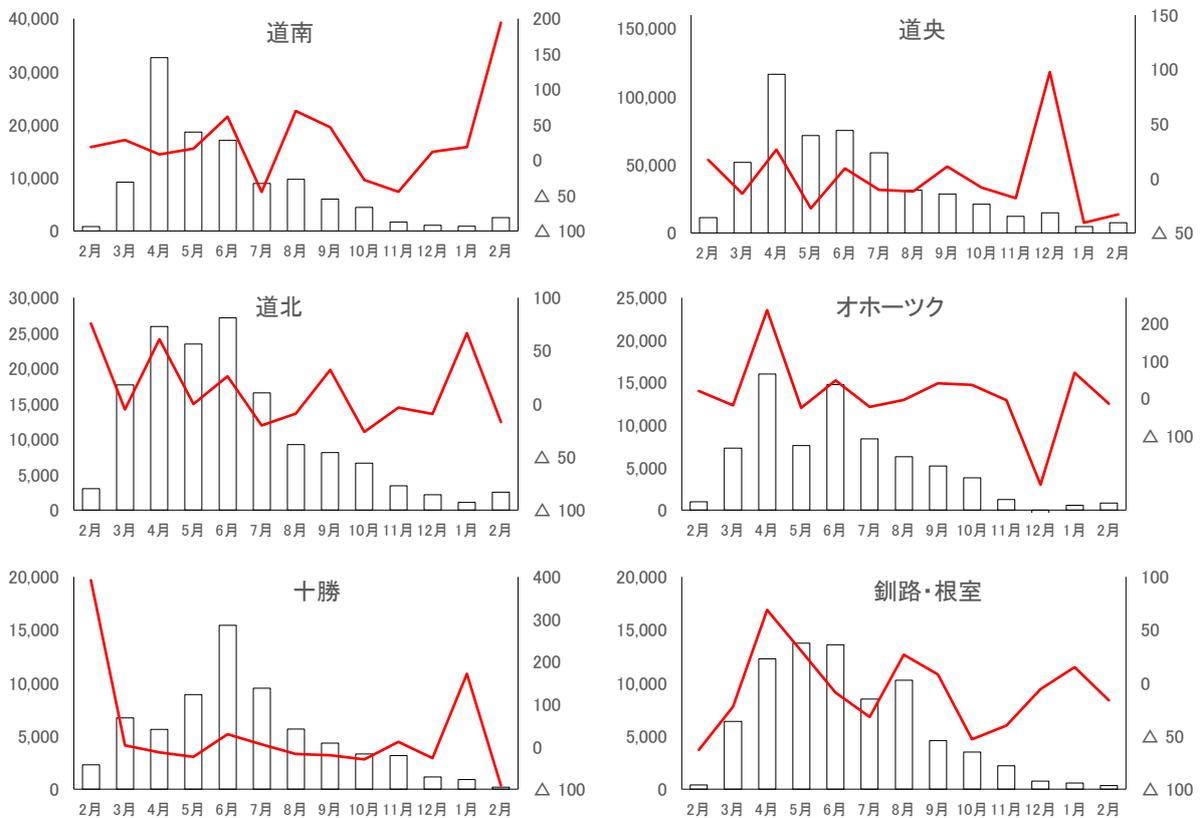
## 公共工事請負金額（2月）

請負金額は、190億円で前年同月比26.8%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



(資料:北海道建設業信用保証(株))

## 各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）

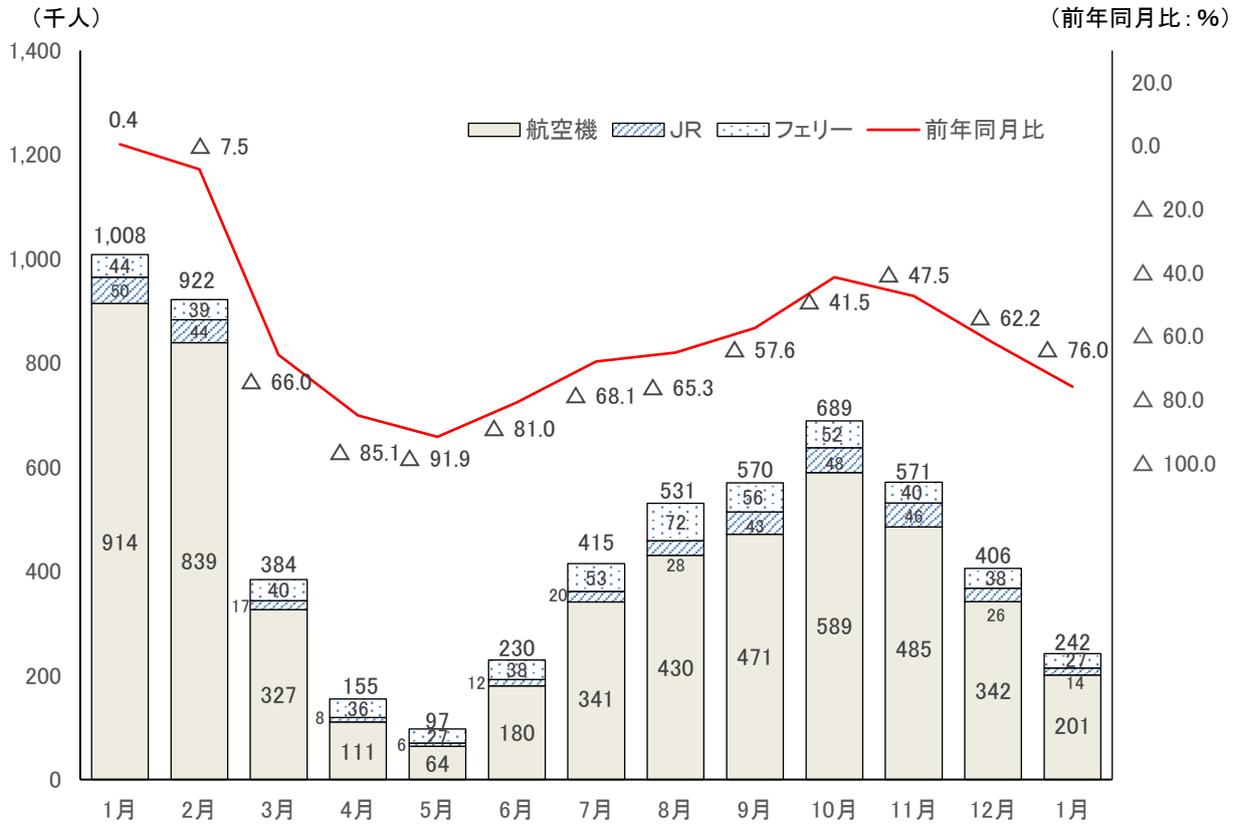


(資料:北海道建設業信用保証(株))

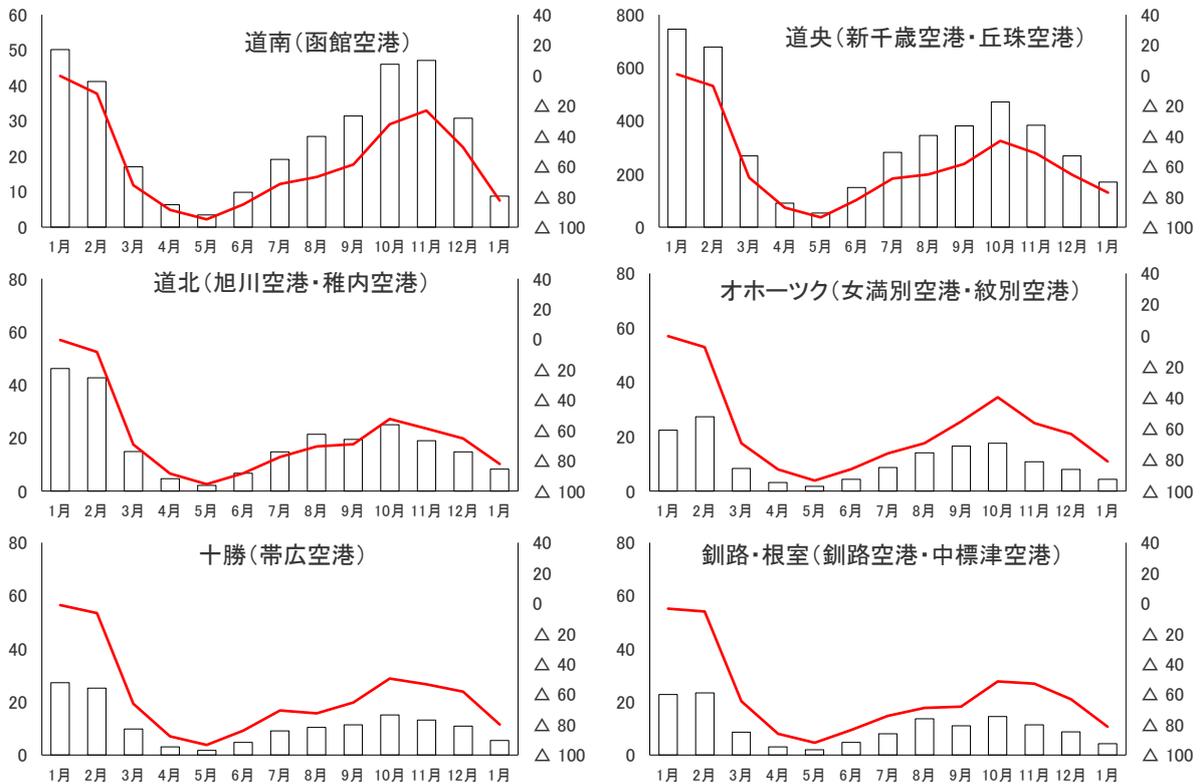
# ■観光～さらに厳しい状況となっている

## 来道者数（1月）

来道者数は、24万2千人で前年同月比76.0%の減少となり、12か月連続で前年を下回った。



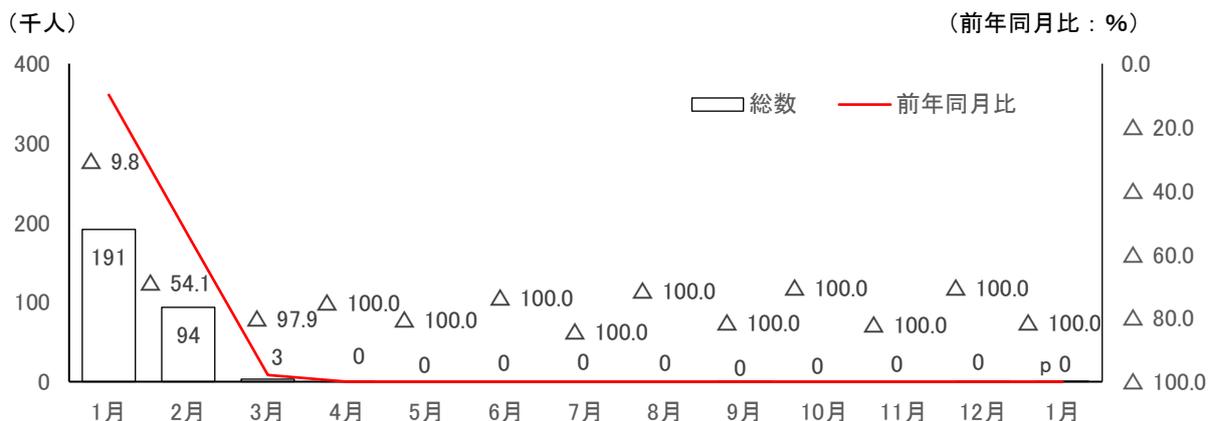
## ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）



(資料：(公社)北海道観光振興機構)

## 来道外国人数（1月）

本道に直接入国した外国人は、2人で前年同月比 100.0%の減少となり、16 か月連続で前年を下回った。

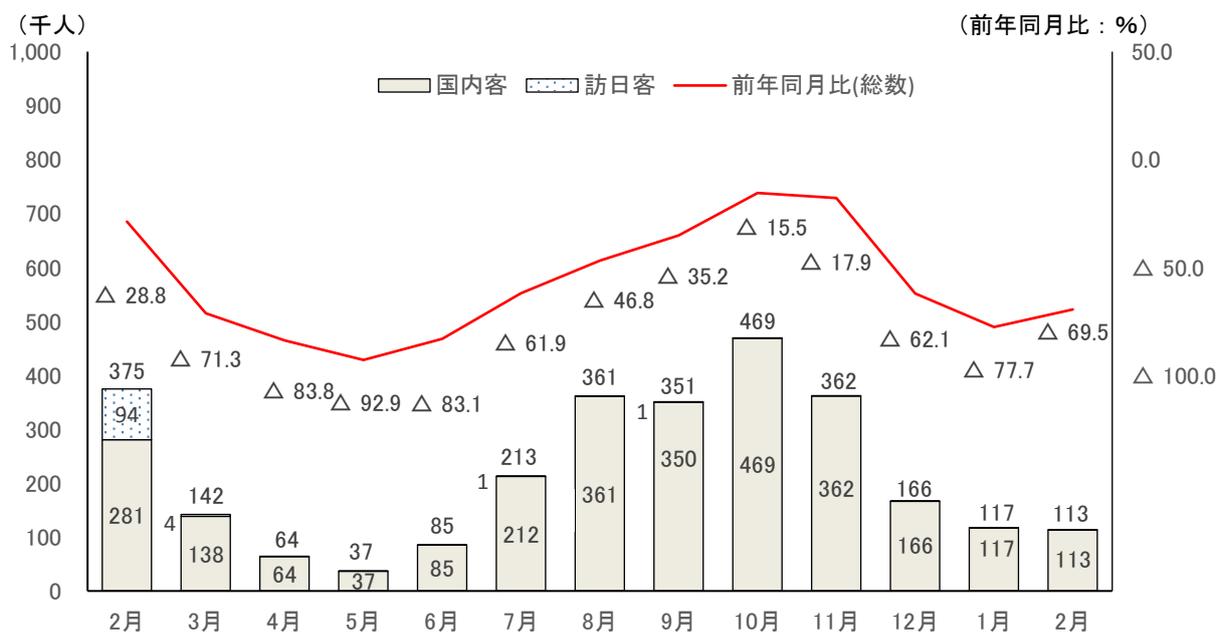


\* 「p」は速報値 (資料:法務省入国管理局)

## 宿泊者数（2月）

日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は、112,774人で前年同月比 69.5%の減少となり、16 か月連続で前年を下回った。

このうち、国内客は 112,706人で同 59.2%の減少、訪日客は 68人で同 99.9%の減少となった。

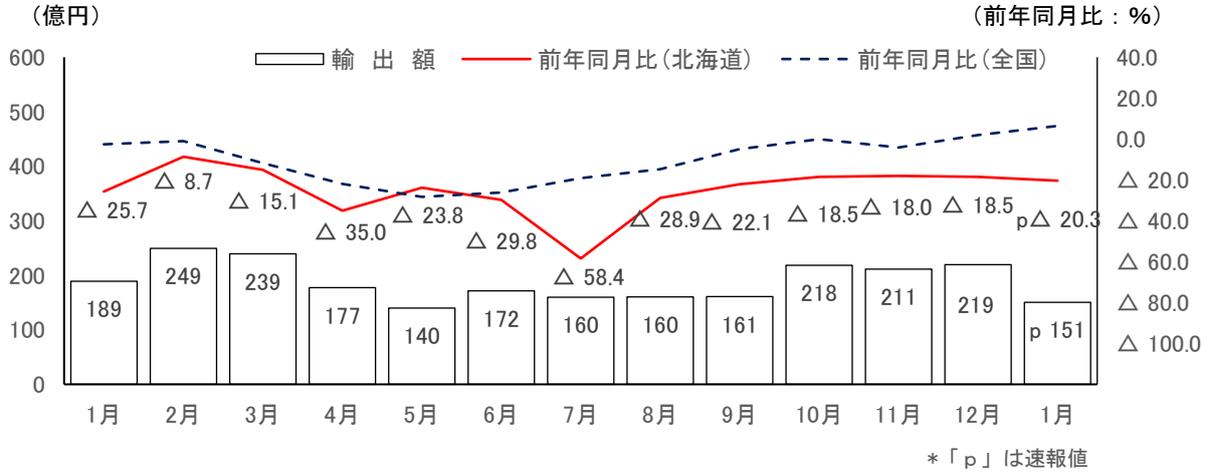


(資料:日本旅館協会北海道支部連合会)

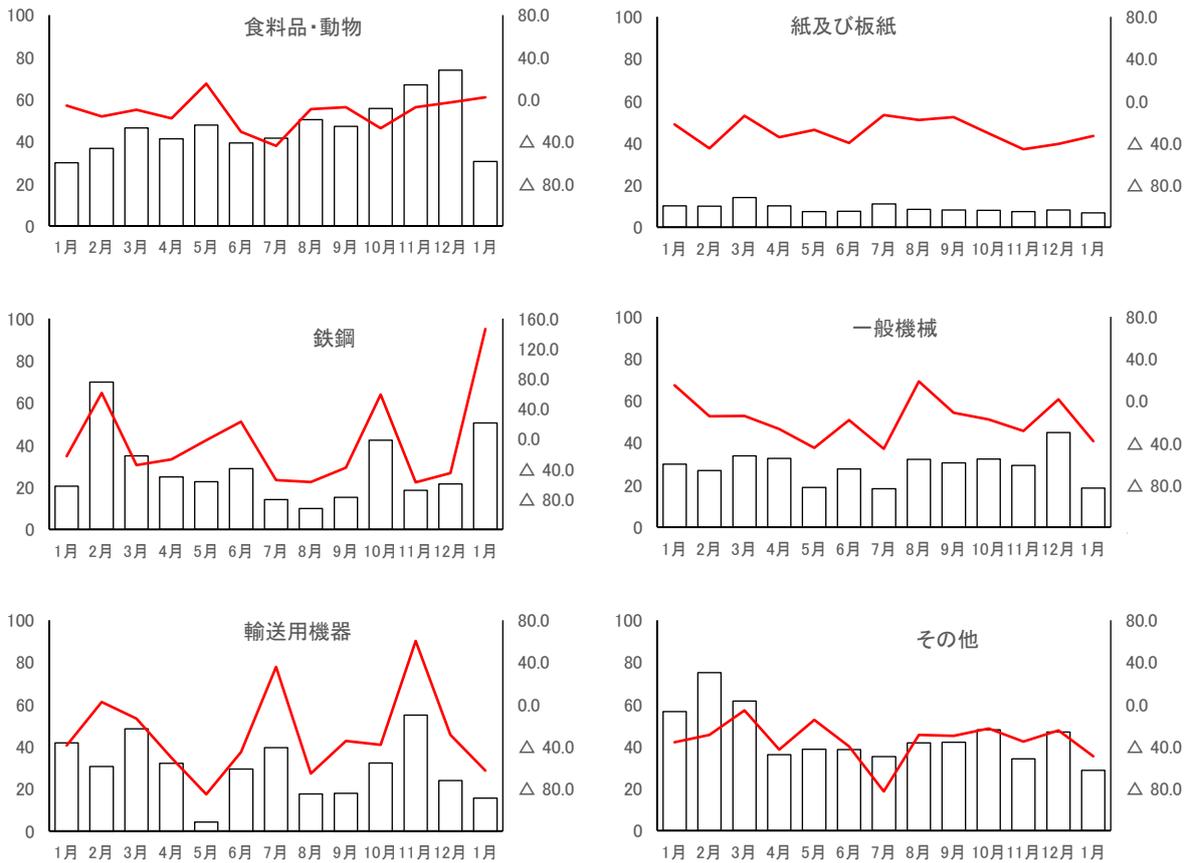
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

## 輸出額（1月）

輸出額は、151億円で前年同月比20.3%の減少となり、18か月連続で前年を下回った。品目別にみると、鉄鋼などが増加したものの、一般機械などが減少した。



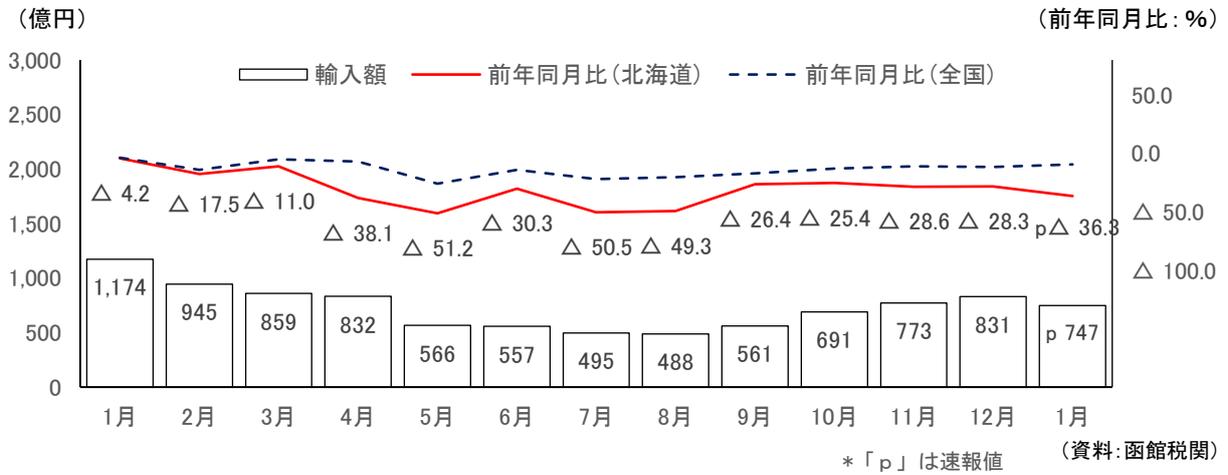
## ■種類別の輸出額（右軸：前年同月比%）



(資料：函館税関)

## 輸入額（1月）

輸入額は、747億円で同36.3%の減少となり、21か月連続で前年を下回った。  
品目別にみると、原油・粗油、石炭などが減少した。



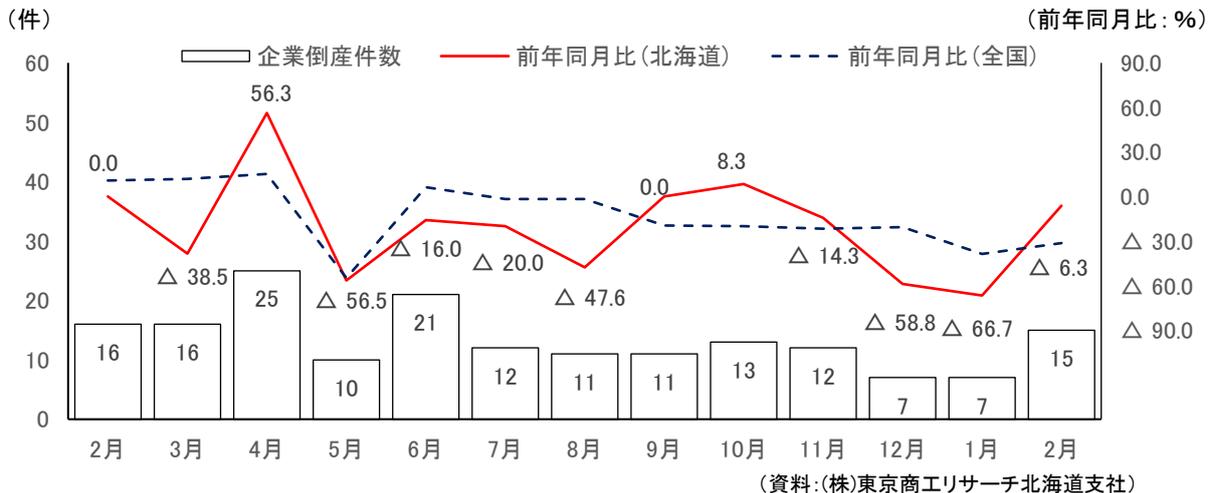
## ■企業倒産～倒産件数、負債総額ともに減少した

### 倒産件数（2月）

企業倒産件数は15件、前年同月比で1件の減少となった。

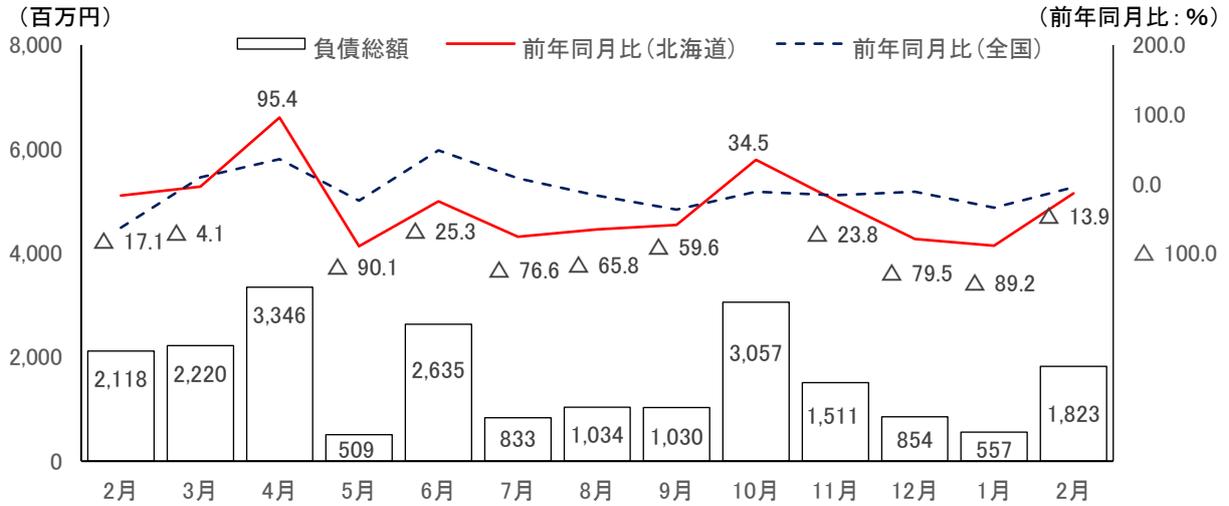
原因別でみると、販売不振が13件（構成比 86.7%）を占めた。

業種別でみると、サービス・他が7件（構成比 46.7%）、建設業、小売業、不動産業が各2件（各構成比 13.3%）であった。

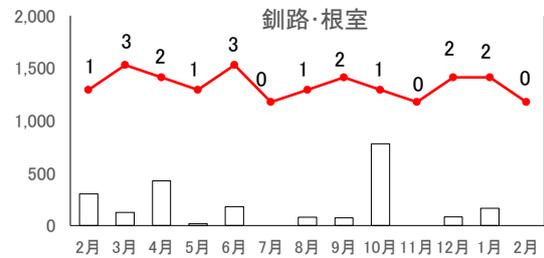
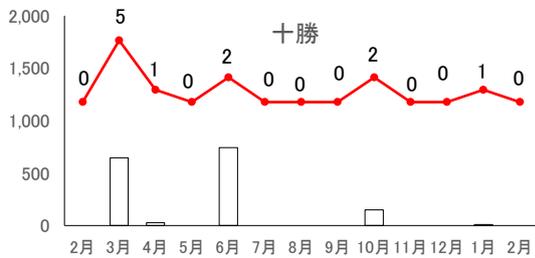
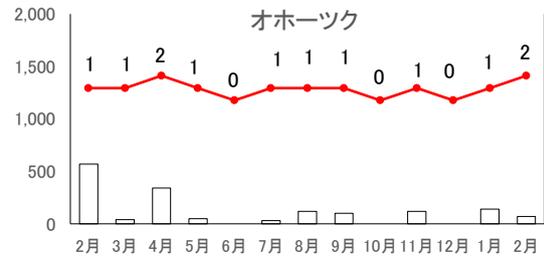
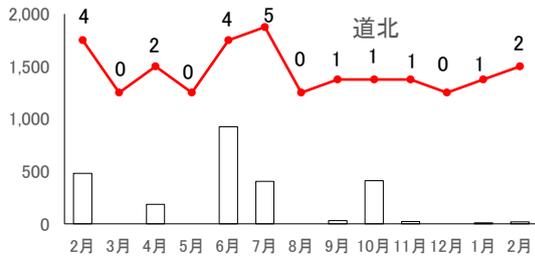
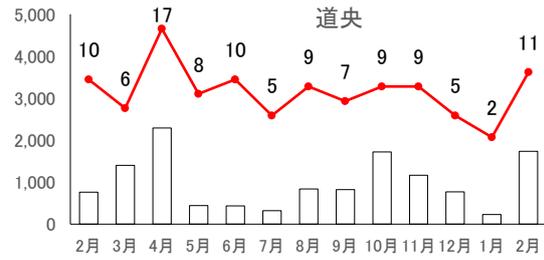
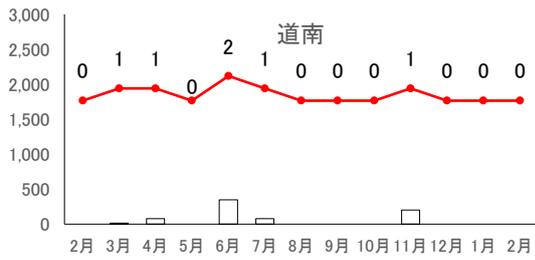


## 負債総額（2月）

負債総額は、18億23百万で同13.9%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）



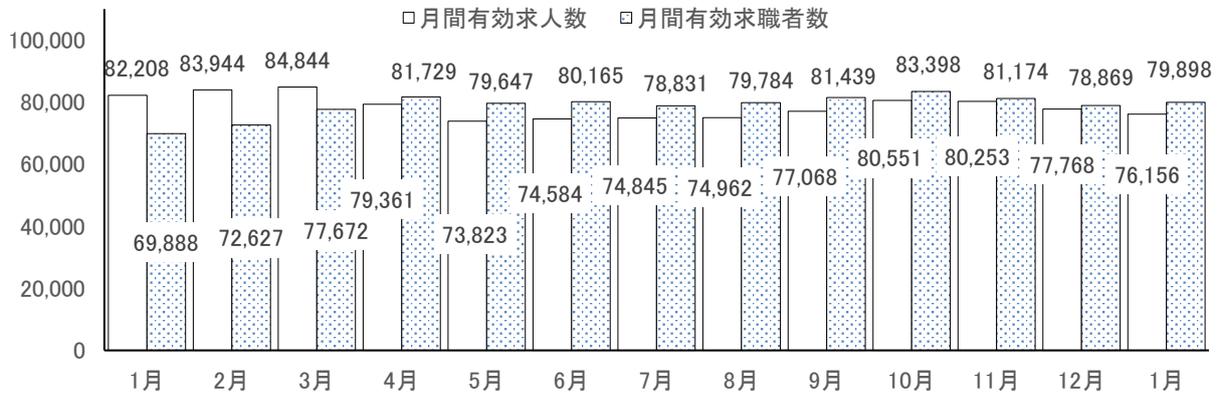
(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

## ■求人・求職～弱い動きが続いている

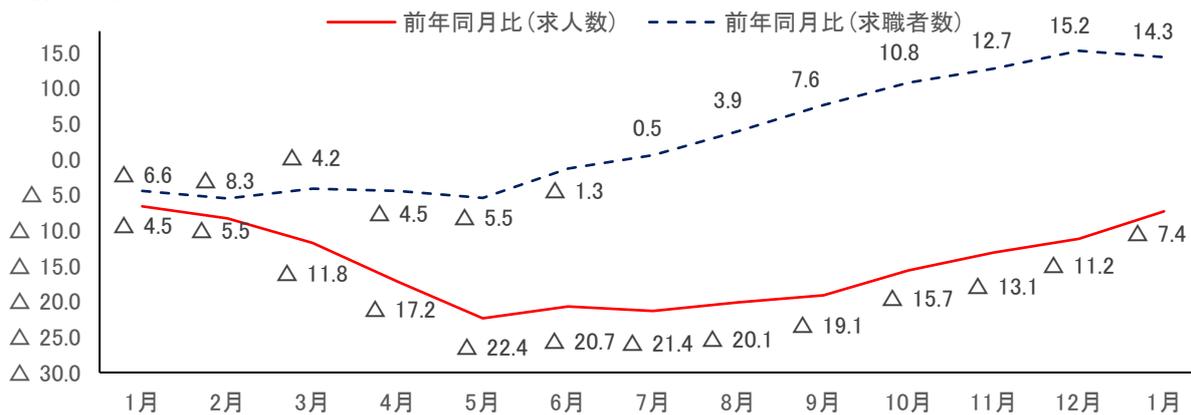
### 月間有効求人数・求職者数（1月）

月間有効求人数は、7万6,156人で前年同月比7.4%の減少となり、15か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、7万9,898人で同14.3%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。

(人)



(前年同月比：%)



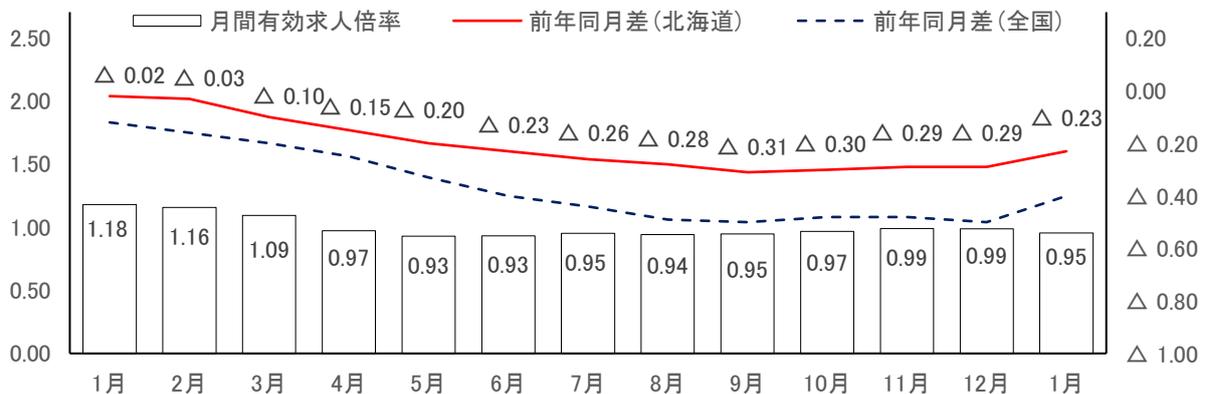
(資料：北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（1月）

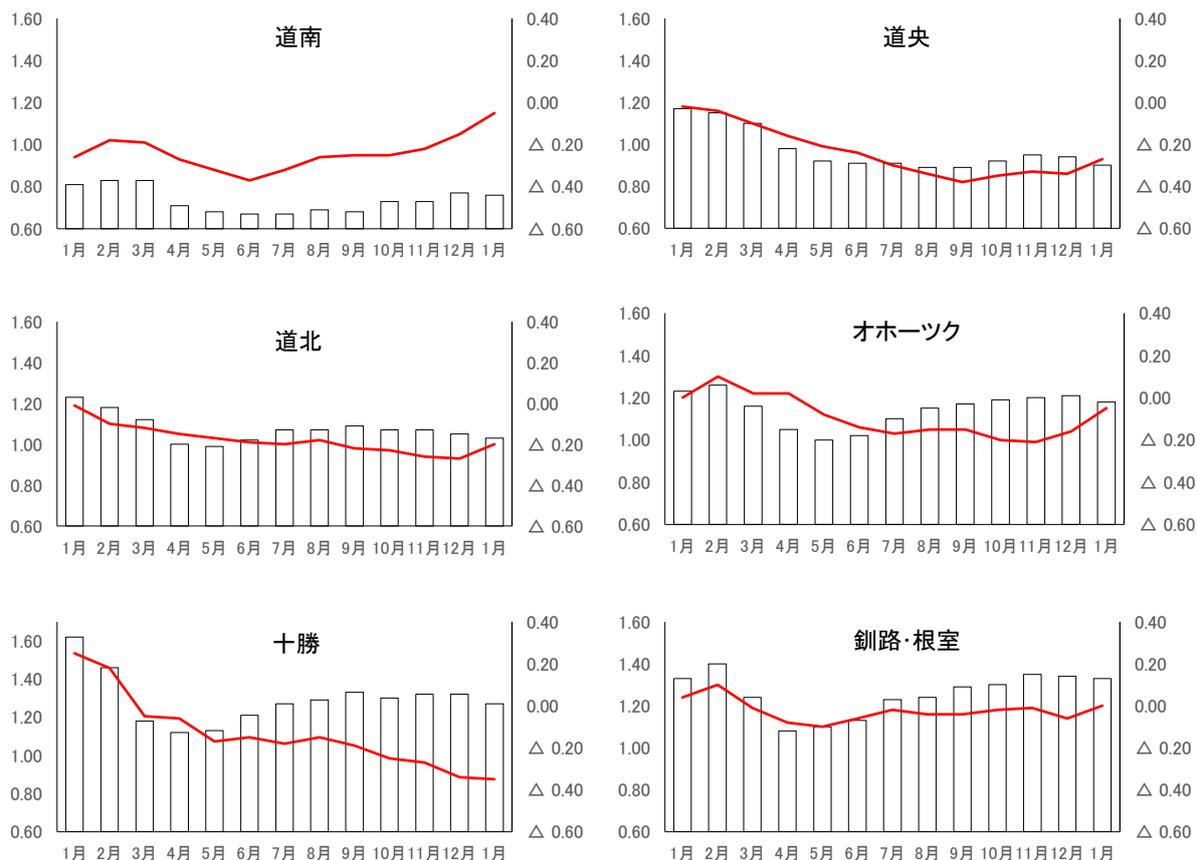
有効求人倍率は0.95倍で、前年同月差で0.23ポイントの減少となり、13か月連続で前年を下回った。

(倍)

(前年同月差：ポイント)



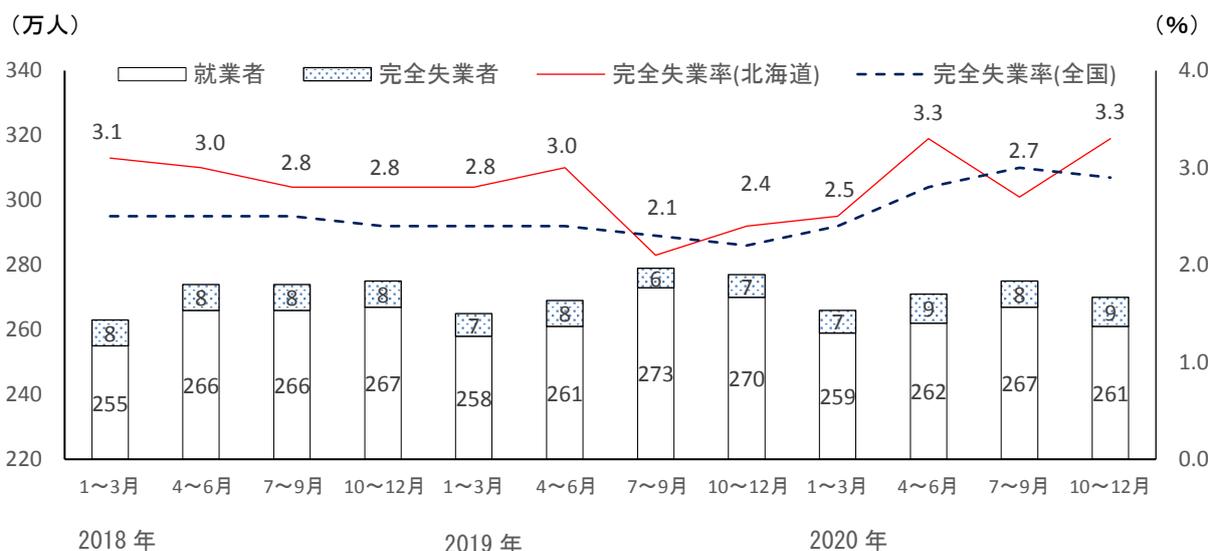
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料:北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和2年10-12月）

完全失業者数は9万人で、前年同期と比べ2万人増加している。  
完全失業率は3.3%で、前年同期と比べ0.9ポイント上昇となっている。

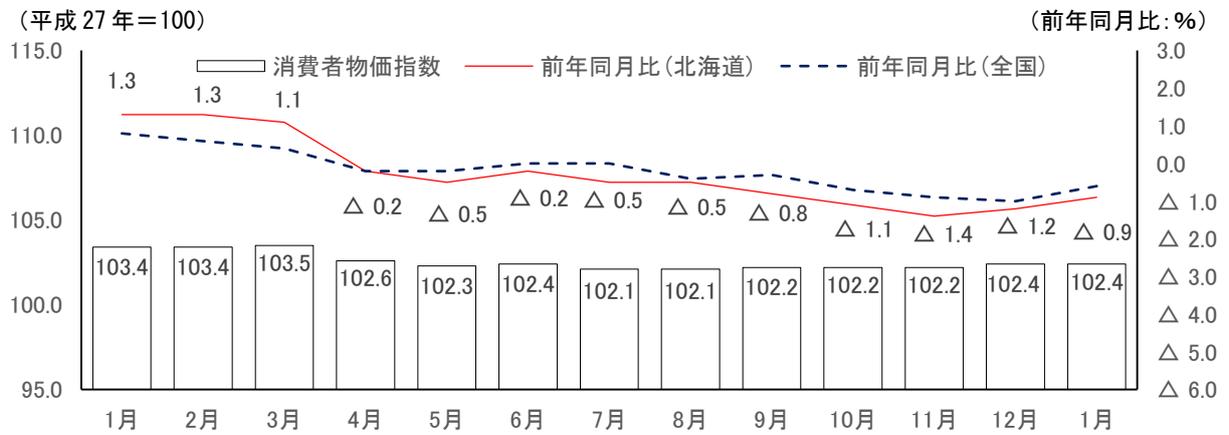


(資料:総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を下回った

### 消費者物価指数（1月）

消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、102.4で前年同月比0.9%の下降となり、10か月連続で前年を下回った。



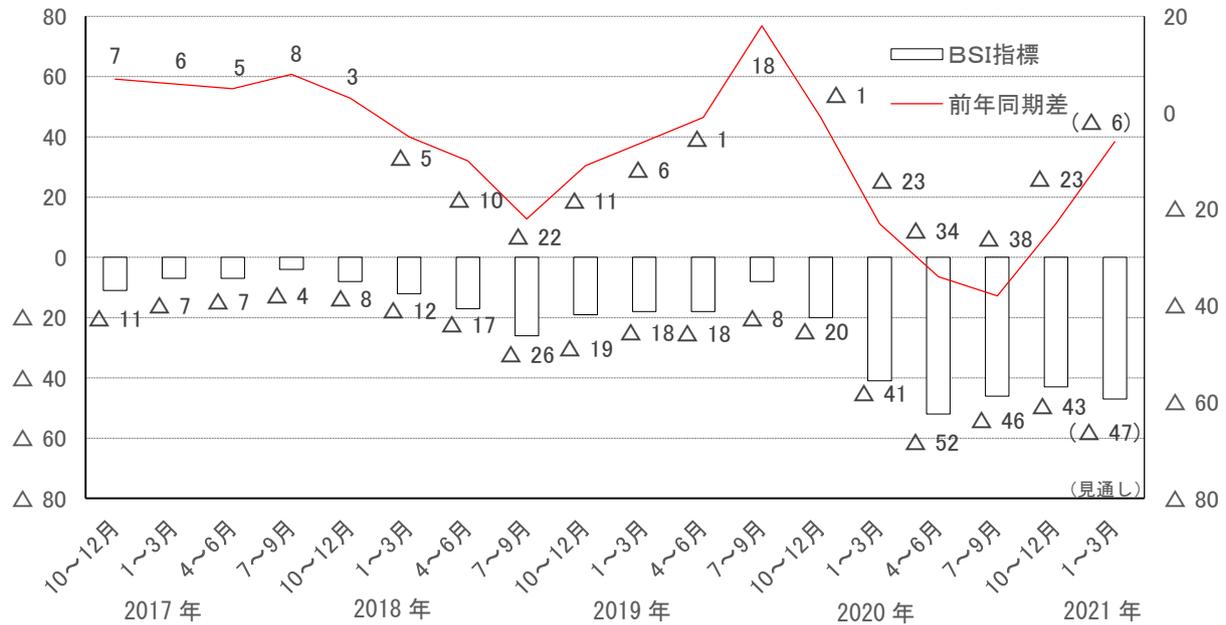
(資料:総務省)

## ■企業経営者意識調査～前期から上昇している

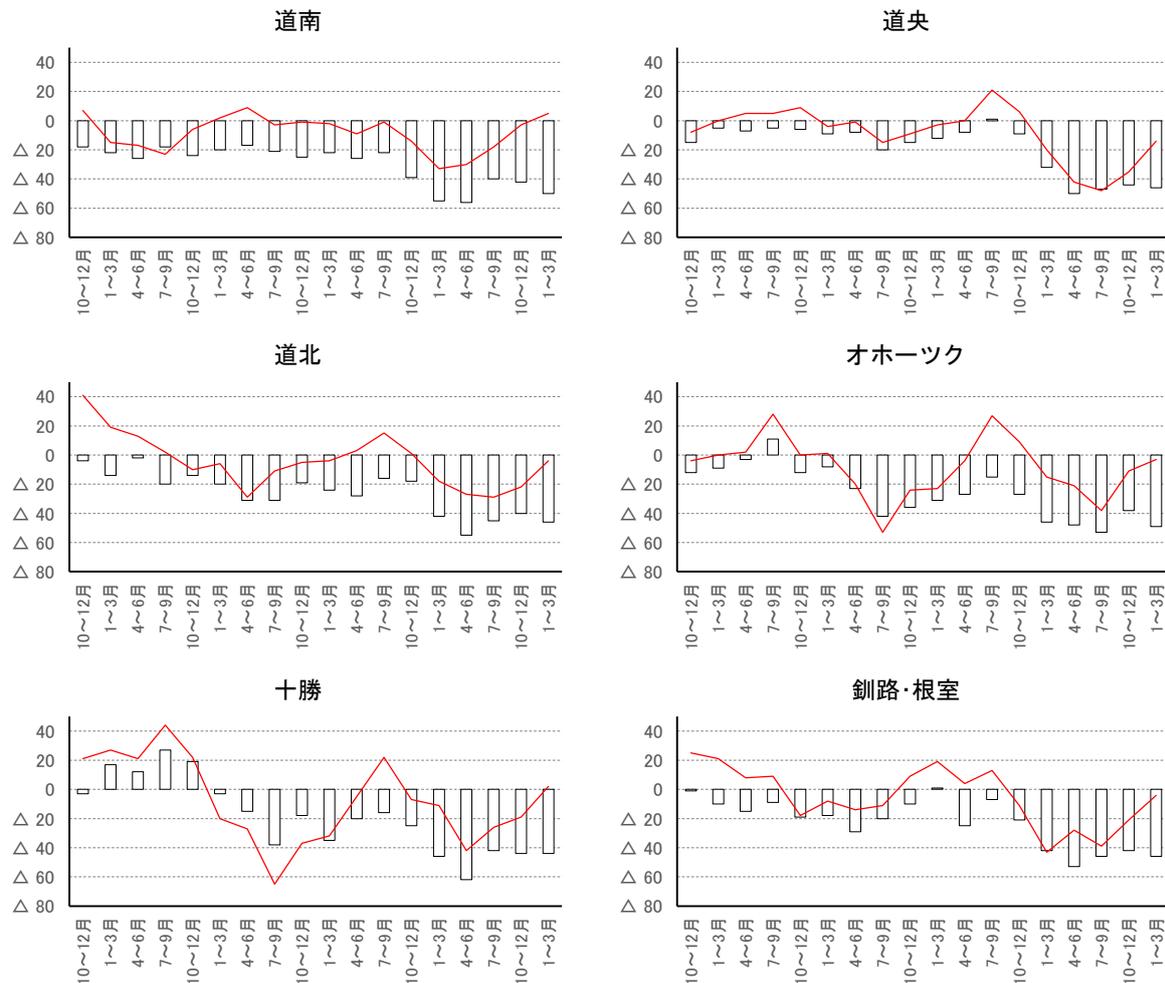
令和2年10～12月期の業況感BSIは△43ポイントで、前期から3ポイント上昇しており、前年同期より23ポイント下降している。来期見通しは△47ポイントで、今期から4ポイント下降の見通しとなっている。

(BSIポイント)

(前年同期差:ポイント)



## ■各圏域の業況感BSI (折れ線グラフは前年同期差)



(北海道経済部調べ)

## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（道央地域）

【客数は回復傾向、客単価は高め】

2月は、お客様の自粛傾向が緩和され、衣類は引き続き低調であるものの、食品催事が好調で、客数が徐々に回復してきた。雪まつり時期のインバウンドや道外客の来店はなくなったが、近郊のお客様の数が増えている傾向にある。目的買いの影響で、客数の減少に対して売上が多く、客単価が高めな傾向にある。

バレンタインイベントでは、新型コロナウイルスの影響で一部イベントの中止や、商品自体の減産等にもかかわらず、今年初となったネットでの販売も好評で、売上は当初の予想を上回った。また、引き続きイエナカ需要でリビング品も健闘した。

特選品ブティックについては、上客向けの施策が功を奏し、比較的好調であった。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

【引き続き日中の自宅需要が好調】

道独自の集中対策期間における外出控えの影響で、2月も日中の買い物が増加し、夜間の減少がみられた。自宅で家族と過ごす機会が増えているので、恵方巻やバレンタイン関連の予約が好調に推移した。コロナの影響が月末で一巡してきており、昨年は外国人によるマスク需要やSNSの影響を受けた紙類の特需があり、反動減となった。

### ◆自動車小売業（道央地域）

【新車は苦戦も中古車は横ばい、採用に影響なし】

令和3年1～2月期の販売動向は、前期と比べて新車は1割減少したものの、中古車については例年通りに推移した。昨年10月下旬以降の新型コロナウイルス道内感染再拡大による影響については、同年5月に感染防止対策の底入れを行ったこともあり、影響はほとんどなく、徐々に客足は通常に戻ってきている印象がある。新車販売は業界全体で前期比10～15%減少で推移している中、当社は10%減少程度であり、営業利益も前期比10%減少程度となっている。今年の4月採用も新型コロナウイルスの影響はなく、予定通り採用することができたことから、他の業種と比較しても、それほど影響の受けていない方ではないか。

### ◆宿泊業（道東地域）

【ビジネス需要でなんとか耐える】

コロナ禍によるこの1年間の利用客数は、平年と比べると2割弱の減少となった。ビジネス需要が若干の減少で推移しているのがせめてもの救いだが、それでも昨年秋以降の感染症の再拡大で、10月まではある程度回復していた客室稼働率も、11月以降は5割台で推移しており、今は耐え忍ぶしかない状況である。大きな期待は抱いていないが、コロナの収束と観光客の動向は、すべて国の対応・対策にかかっていると思う。

【感染防止で様々な自助努力】

持続化給付金をはじめ、国、道、地元自治体の助成制度については、宿泊・飲食事業者として使えるものはすべて使っているが、当ホテルとしても、多くのお客様から要望の多い朝食バイキングを

一度も休むことなく継続させるべく、安心・安全な会場づくり、食材の提供方法、お客様への協力呼びかけなど、感染防止では様々な苦勞を重ねている。G o T o トラベルについては、しばらくの間、ぜひ継続していただききたいというのが正直なところ。

## 最近の経済動向

令和3年3月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>